

# 京北域保育所の今後の在り方 に係る検討について

令和7年7月

京都市子ども若者はぐくみ局幼保総合支援室  
ひかり・弓削・周山保育所



# 現状と課題

# 京北地域における就学前児童数の推移

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R3	12	9	17	17	19	26	100
R4	14	14	7	16	19	19	89
R5	8	17	14	10	16	21	86
R6	6	9	18	13	12	18	76
R7	15	6	7	19	12	13	72
R8 (見込み)	9	15	6	7	19	12	68

※R7までは住民基本台帳人口より引用。各年4月1日時点

# 京北地域における保育所入所児童数の推移①

	ひかり保育所							弓削保育所							周山保育所						
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R 3	0	2	5	3	6	4	20	4	3	6	8	4	10	35	0	1	5	5	9	13	33
R 4	1	1	3	5	4	6	20	3	6	2	5	9	4	29	1	5	3	5	6	9	29
R 5	0	2	1	3	5	4	15	0	6	8	3	6	9	32	2	2	6	4	5	8	27
R 6	0	1	3	1	4	5	14	1	2	9	8	4	6	30	0	5	3	5	4	5	22
R 7	0	1	1	4	1	4	11	0	1	3	10	7	4	25	1	2	5	4	5	5	22
R 8 (見込み)	0	1	1	1	4	1	8	1	1	3	4	10	7	26	1	2	3	5	4	5	20

※各年4月1日時点

## 京北地域における保育所入所児童数の推移②

### 3 保育所の合計

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R 3	4	6	16	16	19	27	88
R 4	5	12	8	15	19	19	78
R 5	2	10	15	10	16	21	74
R 6	1	8	15	14	12	16	66
R 7	1	4	9	18	13	13	58
R 8 (見込み)	2	4	7	10	18	13	54

※各年4月1日時点

# 現状と課題

- ◆ 児童数の減少により、保育所で持続的に集団での活動を経験する機会を確保することが困難となりつつある。
- ◆ 子ども的人数に対し大人が多くなることで、子ども同士の関わりの中に必要以上に大人が介在する機会を多くさせることに繋がる。
- ◆ 同年代の集団保育の中で社会性や人間関係を育んでいこうとする、保育所保育指針に沿った保育の実践に支障を生じさせる可能性がある。

- ◆ 保育所を運営するために必要な職員体制を確保するために、児童数に基づく配置基準以上の人員を配置しており、保育士の人材確保が課題となるなか、保育への影響も踏まえ、適正な人員配置について検討する必要がある。

⇒ 乳幼児期の成長発達における集団での活動や、同年代の子ども同士の関わり合いの重要性を踏まえ、保育や保育所の在り方検討が必要。

# 令和6年度中における取組

# 意見交換会①

## <開催概要>

日時	場所	参加者数
R 6. 7. 1 6 (火)	弓削保育所	1 6 世帯 1 6 人 (入所世帯数 : 2 5)
R 6. 7. 1 7 (水)	ひかり保育所	1 0 世帯 1 2 人 (入所世帯数 : 1 2)
R 6. 7. 1 9 (金)	周山保育所	6 世帯 6 人 (入所世帯数 : 1 8)

## <本市から説明した内容>

京北地域における就学前児童や入所児童が減少しており、子どもの乳幼児期における成長発達において、集団での活動や同年齢同士の間わり合いが重要であることから、保育の在り方に課題があると考えていることや、今後の保育の在り方や統合を含めた保育所の在り方について、検討していく必要があることを説明。

## 意見交換会②

### <主な御意見>

- 集団生活を重視しておらず、京北地域の自然のなかで、少人数でゆったりと丁寧な保育をのぞんで京北地域の保育所を選んでいる。
- 同年齢の子が少ないのは寂しい。子どもが1人、2人になるとかわいそう。集団での活動の重要性は理解できる。
- 小中学校も統合しており、保育所から中学校卒業まで1つのコミュニティしかないのは不安。
- 保育所の在り方を考える以前に、京北地域の人口を増やす取組を考えてほしい。保育所が減れば、移住をあきらめる人が出てくる。
- 自然豊かで子育てに良い環境ではあるが、地域に産婦人科や小児科がなく、子育てがしやすい環境ではないので、改善してほしい。
- 一度意見を聞いて終わりではなく、継続して聞いてもらいたい。

# アンケート

---

## <実施趣旨>

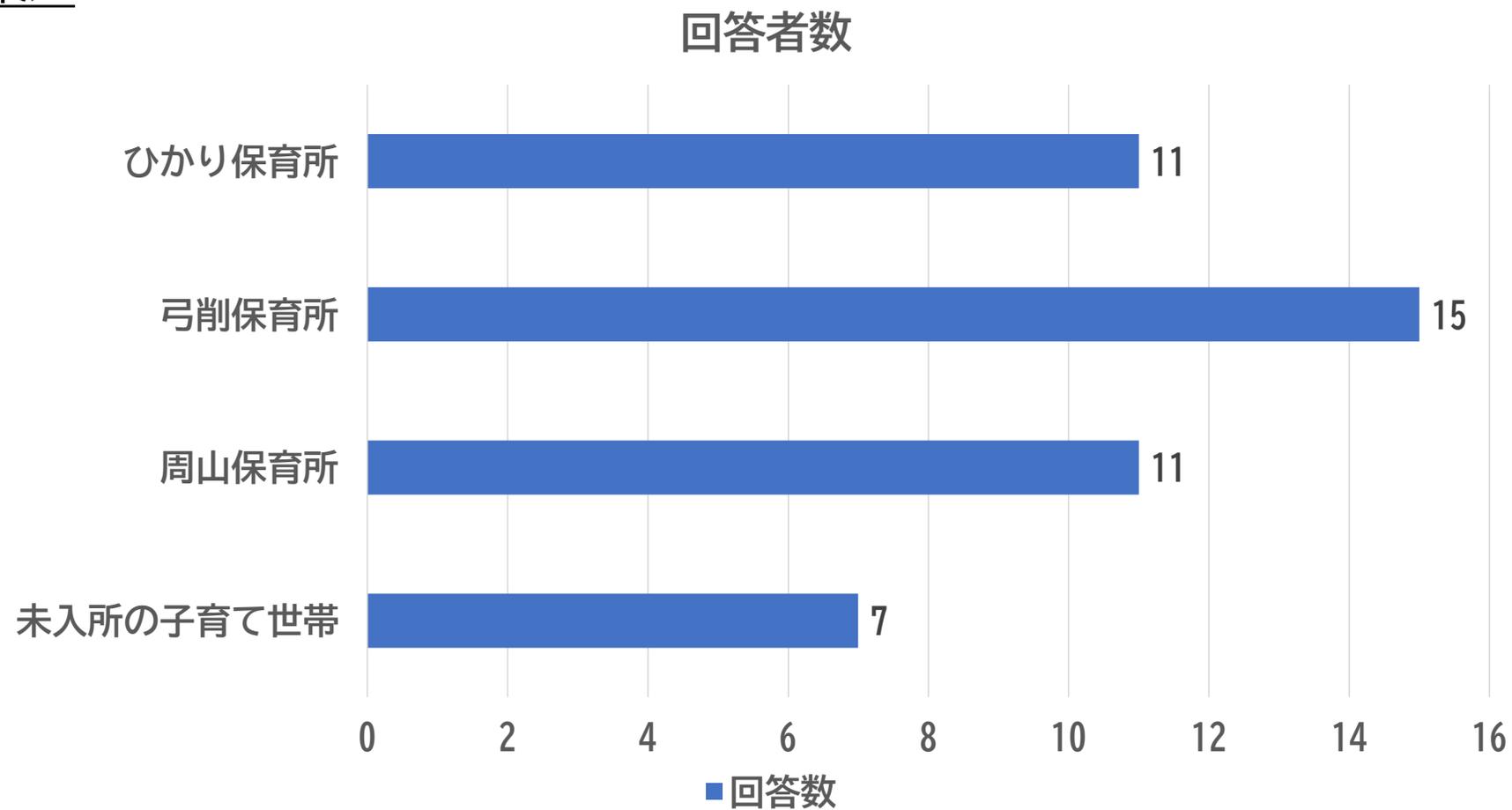
意見交換会に参加できなかった方も含め、より広く丁寧に御意見を伺うためにアンケートを実施

## <実施期間>

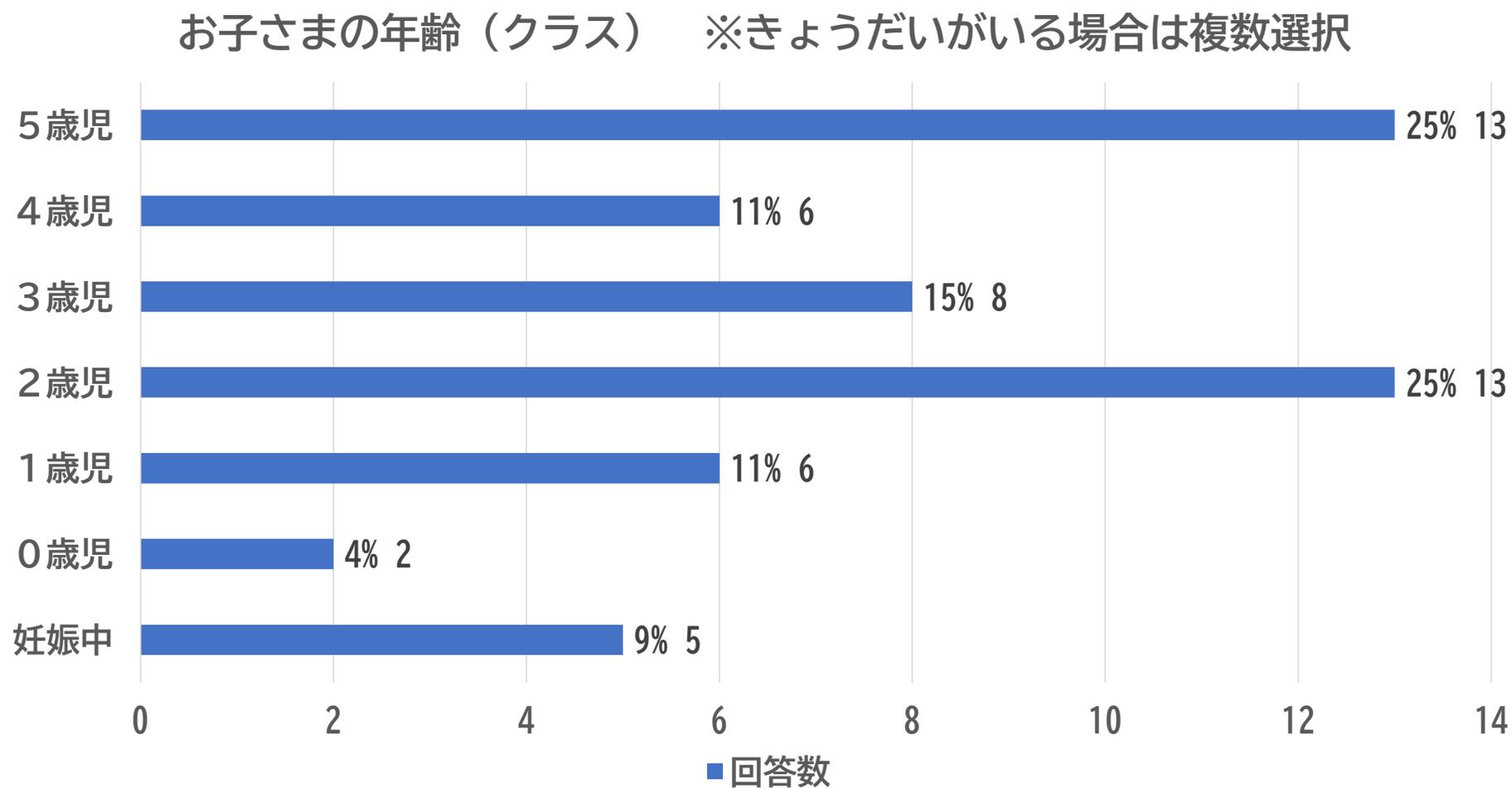
令和6年12月25日（水）～令和7年1月20日（月）

# アンケート結果

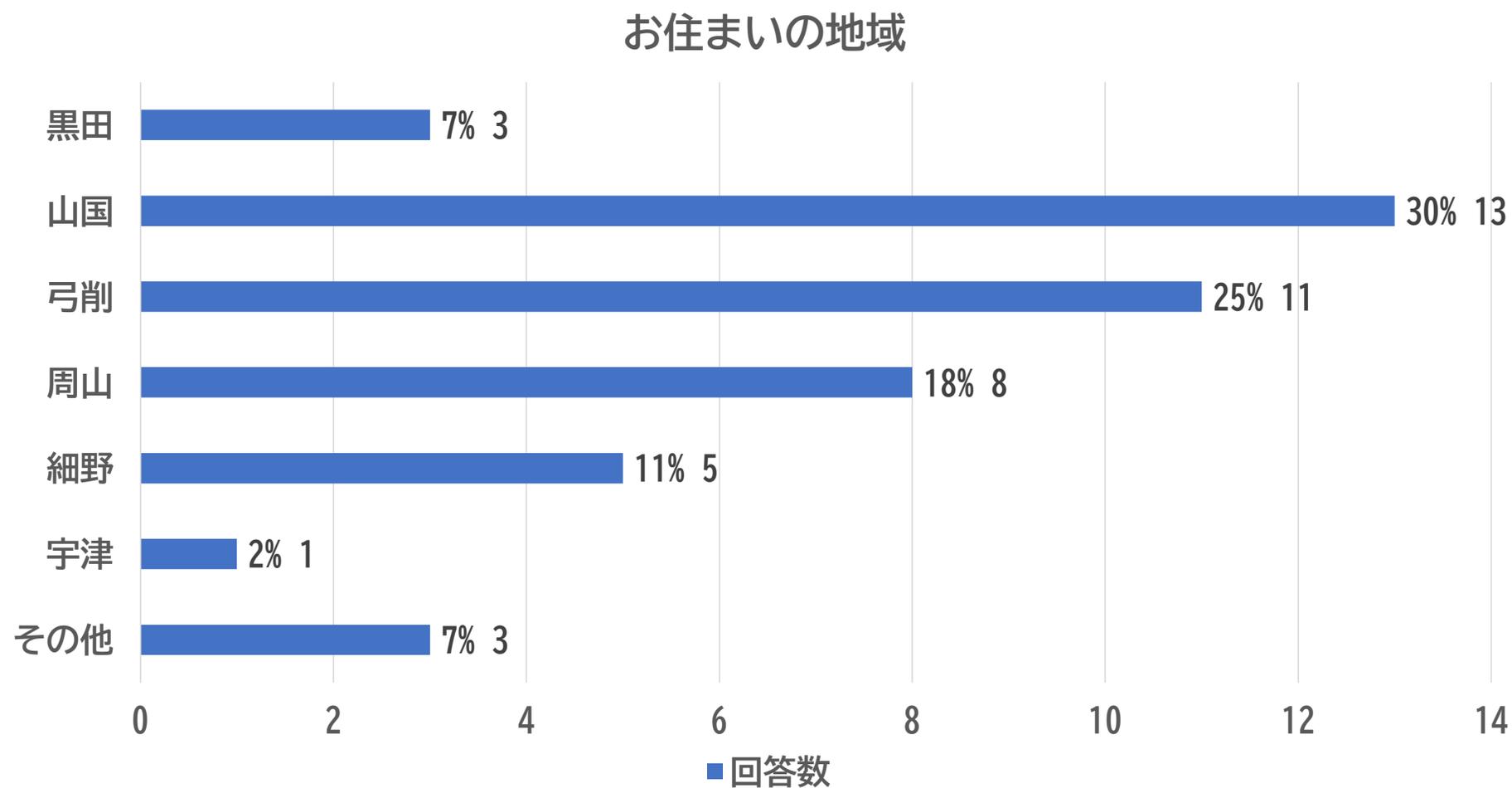
<結果>



# アンケート結果

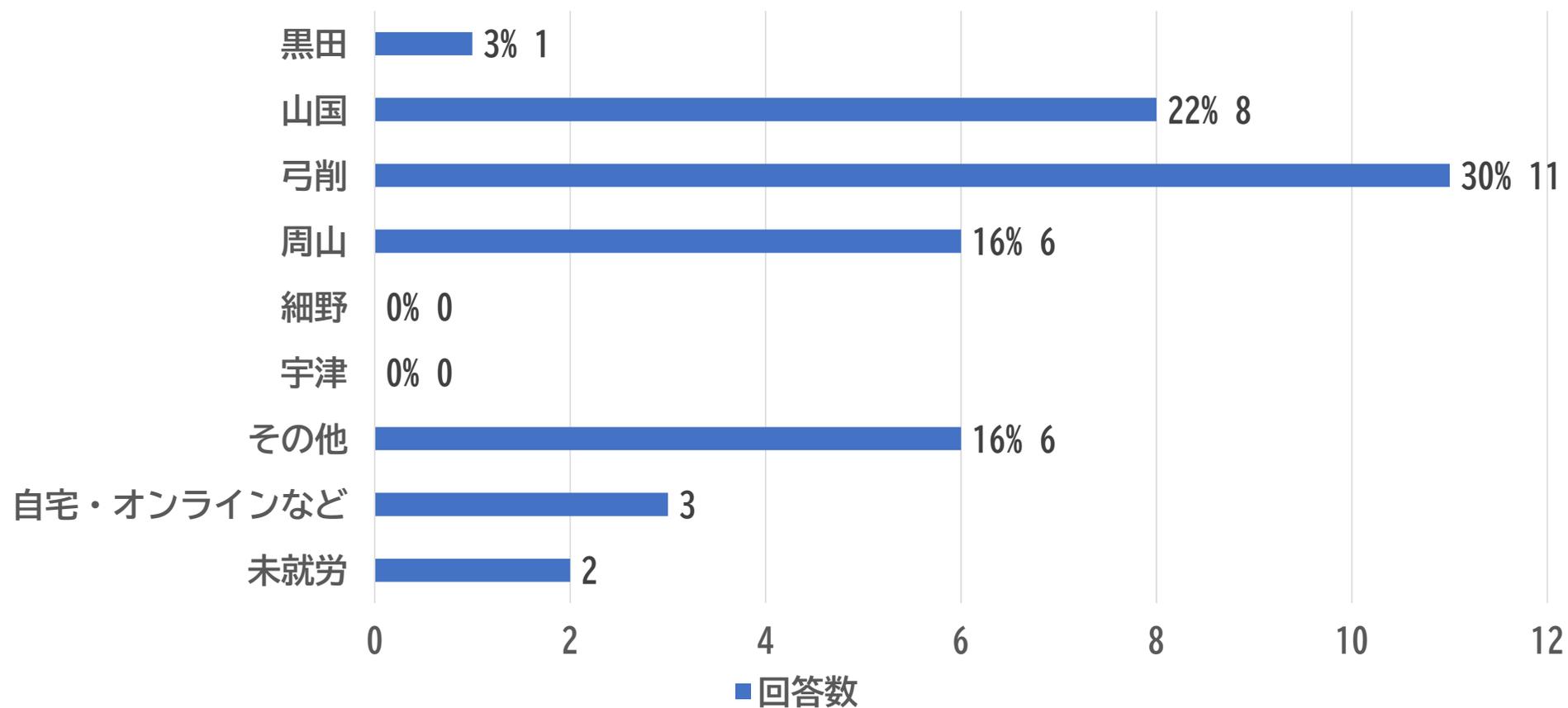


# アンケート結果



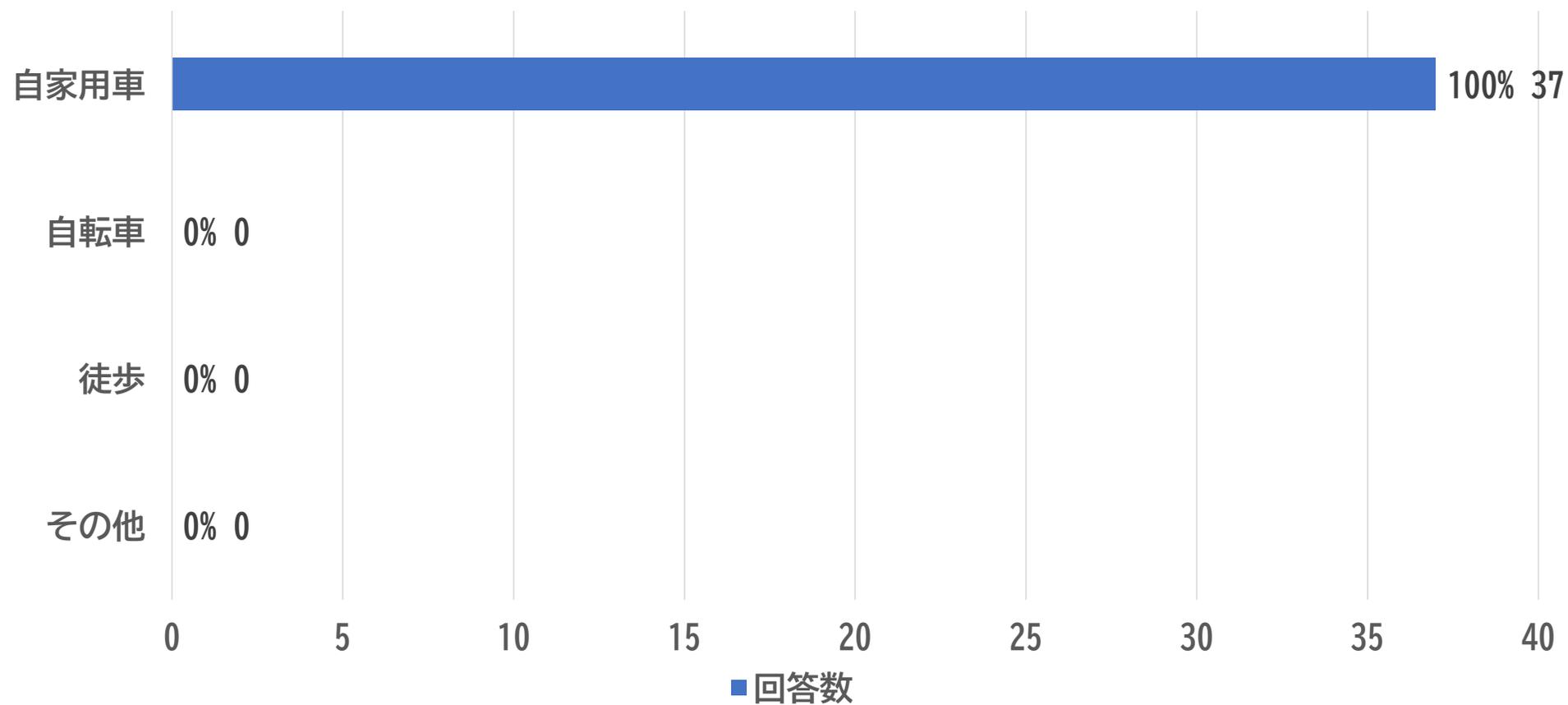
# アンケート結果

【入所中の方のみ対象】 主に送迎をされる保護者の勤務先地域



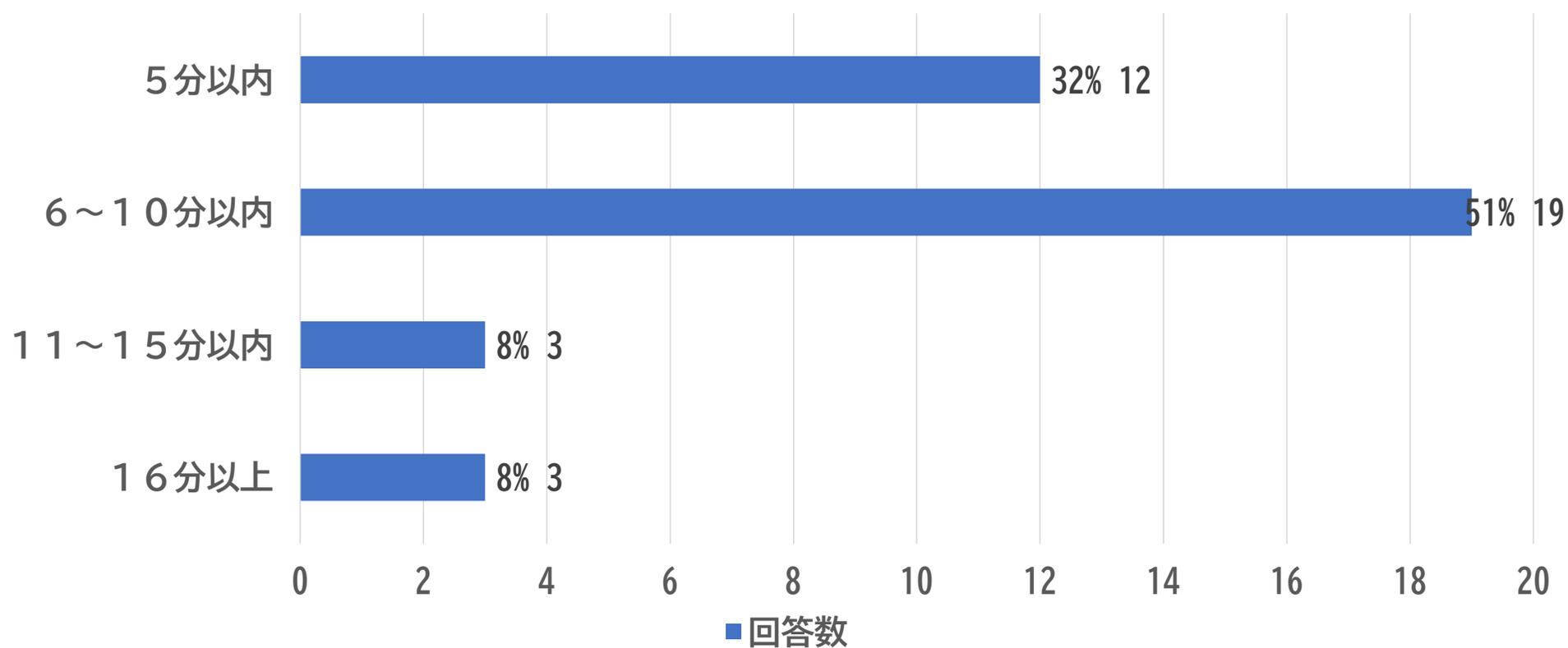
# アンケート結果

## 【入所中の方のみ対象】 保育所への通所手段



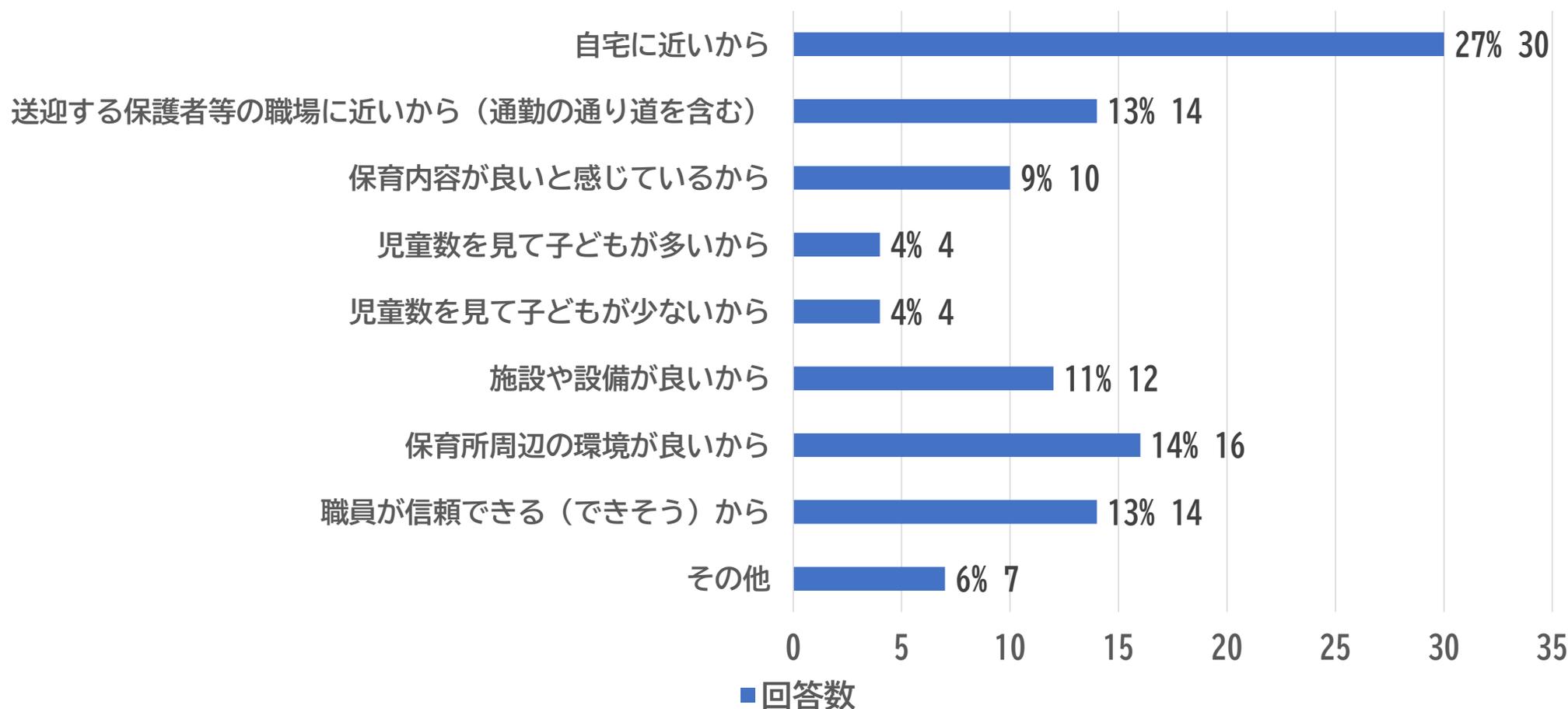
# アンケート結果

【入所中の方のみ対象】 自宅から保育所までの送迎に必要な移動時間（片道）



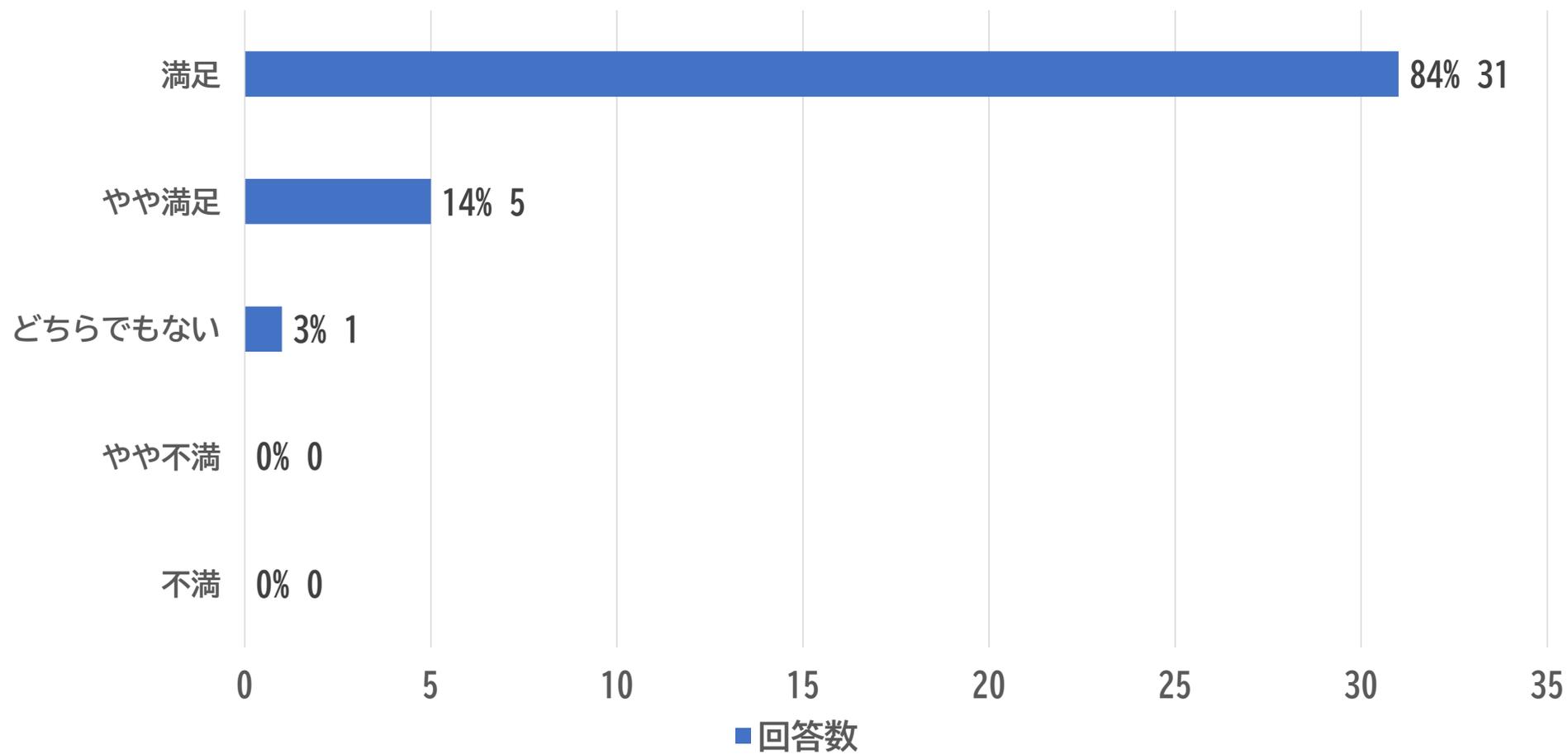
# アンケート結果

保育所選択の理由  
(未入所の方は保育所を選ぶ際に重視する理由) ※複数選択可



# アンケート結果

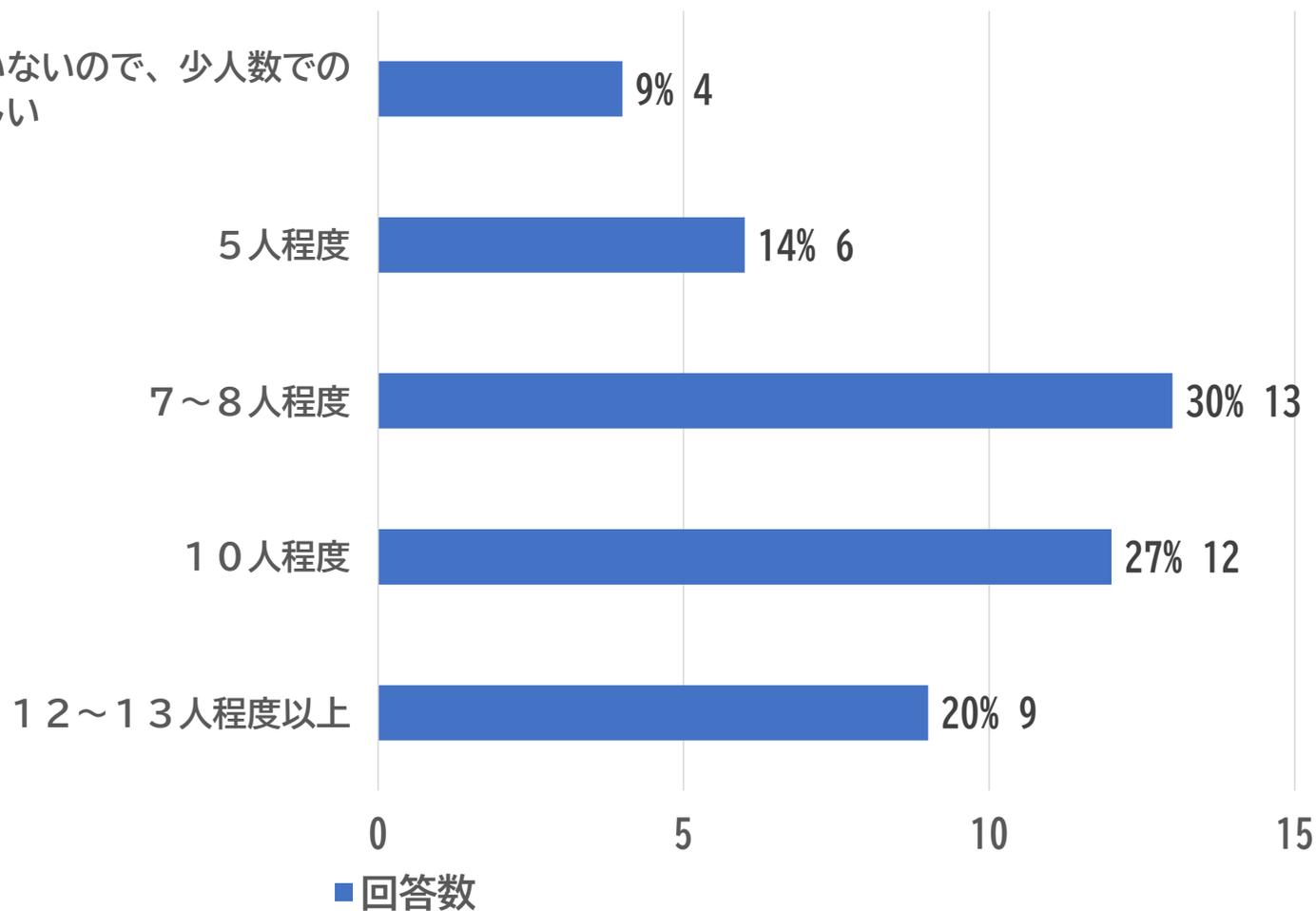
## 【入所中の方のみ対象】 保育所の満足度



# アンケート結果

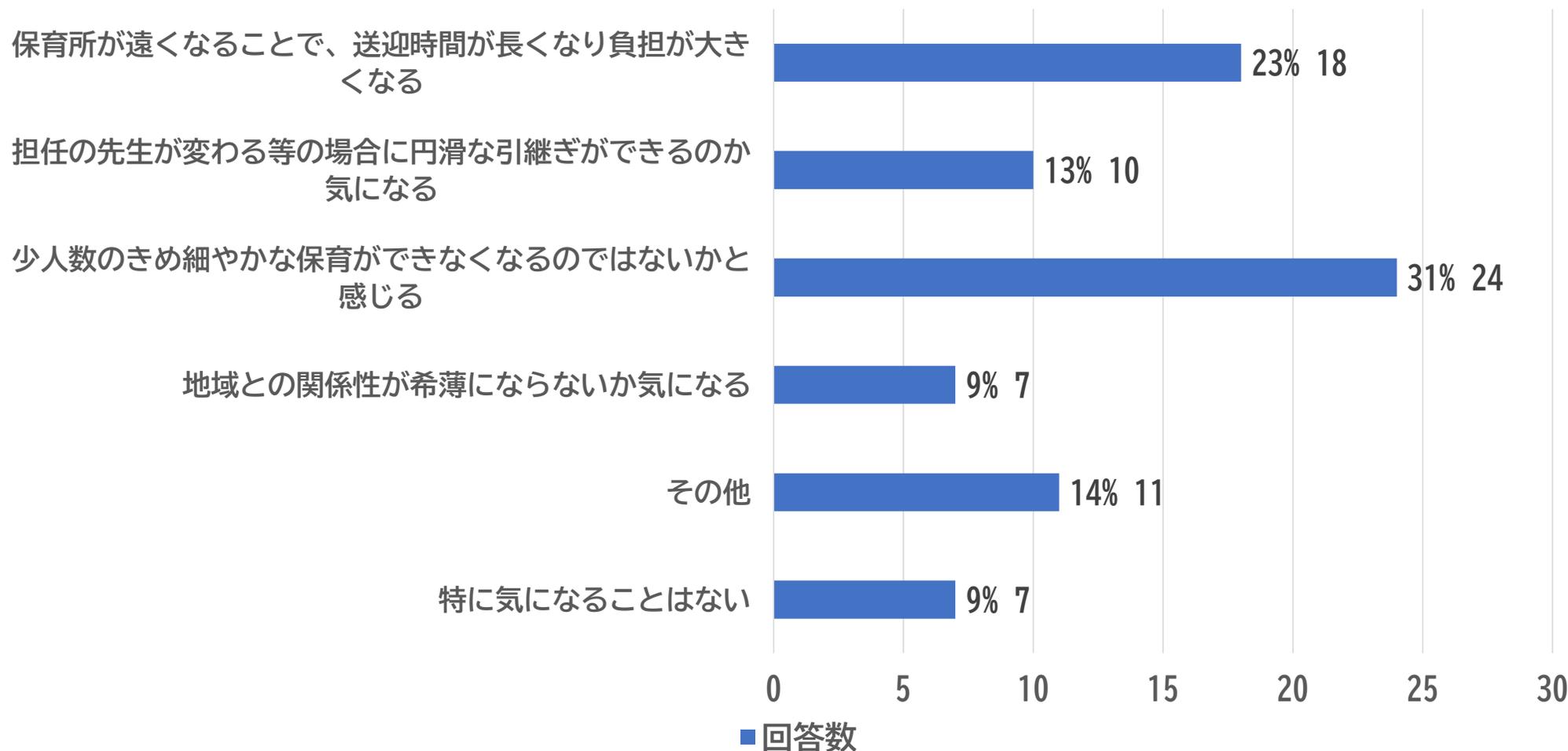
## 望ましいと感じる同年齢の子どもの人数規模

集団の生活が望ましいと考えていないので、少人数での保育が望ましい



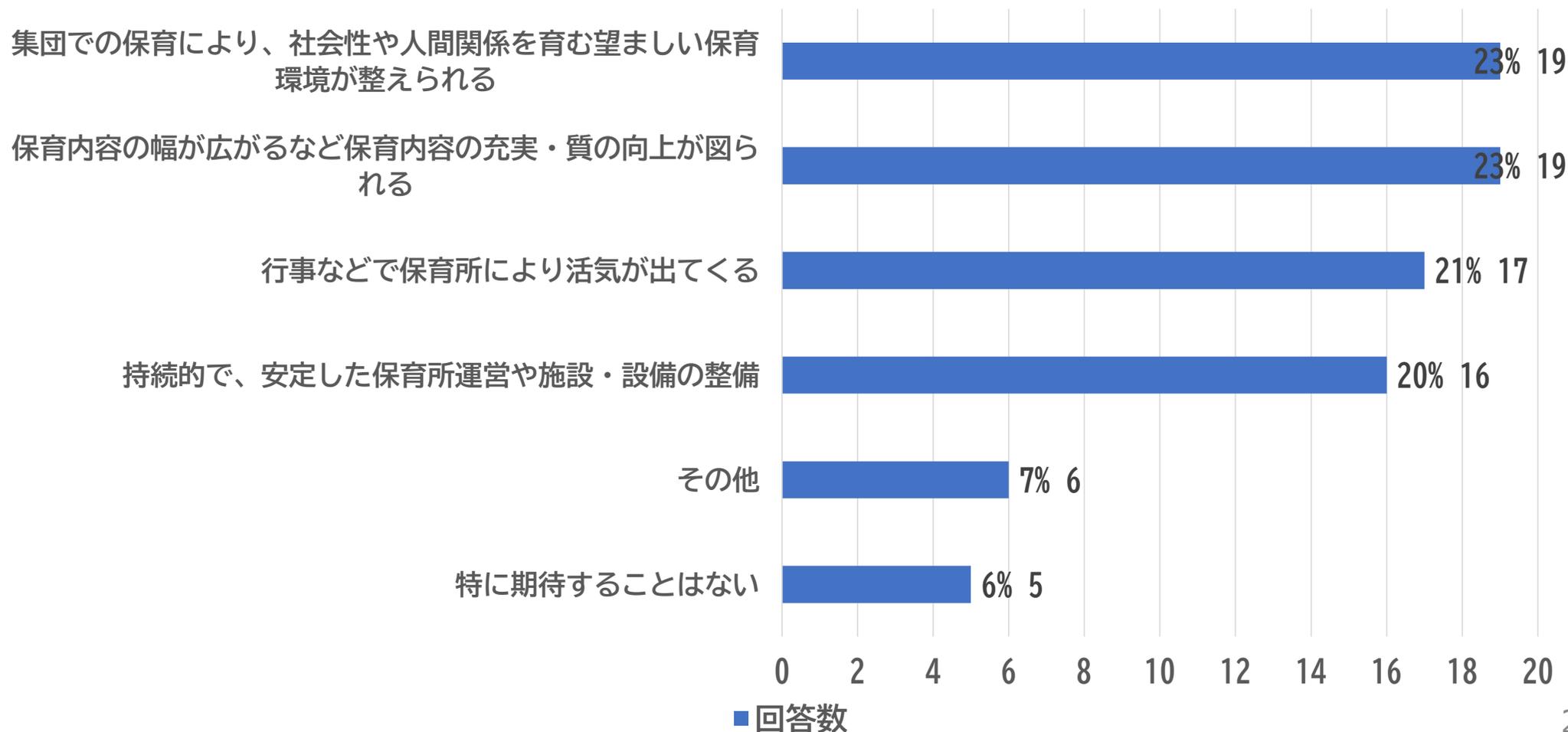
# アンケート結果

今後、保育所の再編を行ううえで、気になること※複数選択可



# アンケート結果

今後、保育所の再編を行ううえで、期待すること※複数選択可



# アンケート結果

## 【その他意見】

### <保育に関する意見>

- 少人数ならではの手厚いきめ細やかな保育に満足しており、統合によって保育の質が低下しないか。現在の保育の質（手厚さ、きめ細やかさ）を下げないようにしてほしい。
- 「集団生活が発達段階として重要」という価値観を一方向的に押し付けている。現在の3保育所の特色や地域色を尊重し、それぞれの良さを残すべき。
- 少人数の異年齢保育の良さを感じているからこそ、京北地域に住んでいる。

### <保育所再編に関する意見>

- 子どもの人数が少なくなり、保育所再編は仕方ないことだが、子どもや先生に負担にならないように配慮してほしい。
- 保育所が遠くなった場合、送迎が負担。
- 再編する場合は施設を整備してほしい。

# アンケート結果

## 【その他意見】

### <地域の活性化や移住促進に関する意見>

- 少人数保育を望む移住者が多い中、集団での保育を目指すことが移住の動機を失わせる可能性がある。保育所が地域からなくなることが、さらなる過疎化につながる。
- 異年齢少人数保育のような京北の特色を活かした保育が移住者を呼び込む可能性がある。
- 統合より先に人口を増やすための対策など、もっと取り組んでもらいたい。

### <コミュニティに関する意見、その他意見>

- 保育所から中学校まで、ほぼ同じメンバーで過ごすことによる不安

# 市営保育所が目指す保育と今後の進め方

# 市営保育所が目指す保育

## 市営保育所が目指す保育

- 一人一人を主体として受け止め、  
主体としての心を育てる保育

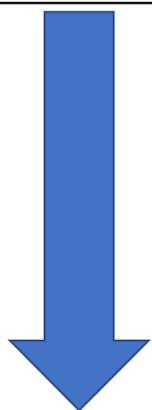
### 友だちとのかかわりの中で

子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にする。

子ども同士のぶつかり合いを成長に必要なことと捉え、その中で友だちと仲よくする心、互いに尊重する心を大切にする。

# 市営保育所が目指す保育（他者とのかかわりの重要性）

- 思いを伝え合うことの大切さや難しさ、多様な個性や考えに気付く。
- 集団の中で役割分担したり協力するなど、他者との関係を経験する。
- 集団の中で期待される行動や役割、守るべきルールを理解する。



個の成長（『私は私』  
のころ）

集団の成長（『私は私た  
ちの中の私』のころ）

成長を促す

成長を促す

- 私（ひとりひとり）と私たち（ひとりひとりが集まった集団）が影響しあい、相互に成長を促す。
- 集団生活に欠かせない協同性が育まれる。

## 市営保育所が目指す保育（まとめ）

- 一人一人の子どもの主体性を大切に保育をする、その先に集団の育ちがあります。私（ひとりひとり）の成長と、私たち（ひとりひとりが集まった集団）の成長は別のものでなく、子ども同士のかかわりが刺激になって、どちらもが関わり合い、からみあいながら育っていきます。
- 保育所職員はチームで保育を行い、1人の視点では見えない子どもの姿を共有し、連携しながら、子どもの育ちを支えていきます。
- 今後も、市営保育所のあるべき姿として、子ども一人一人の個性を大切に丁寧に保育していきます。

## 今後の進め方（基本的な考え方）

- 本市が目指す保育には、子ども同士の関わりが大切である。
- とりわけ、3歳児以上の児童については、同年代の子どもがいる集団生活の中で、個の成長と集団としての活動の充実を図れるよう、保育所保育指針に沿った集団生活の中で社会性や人間関係を育む保育環境が望ましい。
- 子どもの最善の利益を考え、児童数が減少している中であっても、最大限望ましい保育環境を維持していくことが重要。
- そのためには、統合を含めた保育所の再編を手段として検討する必要がある。

## 今後の進め方（留意点）

### 意見交換会やアンケートの結果を踏まえると…

同年代の子どもが一定数いることが望ましいと考えている保護者の方がおられる一方で、現在の少人数での保育に満足し、今後の保育所の在り方や再編の可能性に不安を感じている保護者の方も多い。



保護者や地域の方の意見を聴きながら、丁寧に議論を進めていく必要がある。

# 今後の進め方（留意点）

## 【今後の児童数の見込み】

	ひかり保育所							弓削保育所							周山保育所						
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R8	0	1	1	1	4	1	8	1	1	3	4	10	7	26	1	2	3	5	4	5	20
R9	0	1	1	1	1	4	8	1	2	3	4	4	10	24	1	2	2	3	5	4	17
R10	0	1	1	1	1	1	5	1	2	3	4	4	4	18	1	2	3	2	3	5	16

※各年度の数値は、前年度児童数の0～4歳児を移行のうえ、直近3年間の4月平均入所児童数を加えて算出。



引き続き対策を行っていく必要があるが、全国的に人口減少・少子高齢化が進行するなか、少なくとも今後数年間は児童数が減少する見込みであり、令和10年度頃には3保育所いずれも20名を下回る可能性が高いため、早急に在り方を検討し、方針を策定する必要がある。

# 今後の進め方（具体的な進め方）

## 【具体的な進め方】

- 保育の在り方・保育所の在り方や、保育所再編に伴う課題について議論する検討会を立ち上げ
- 保護者や地域の皆様に開かれた形で検討会を複数回実施
- 本市の保育・保育所に関する考え方について皆様に理解いただけるよう継続して説明
- 引き続き丁寧に御意見を聴きながら、令和7年度中を目途に、京北地域の実情を踏まえた今後の方針策定を行い、準備期間を考慮し、令和9年度からの保育所再編を目指す。

# 検討会について

# 検討会について

## ★検討会について

各保育所の保護者や地域の代表の方に参加いただき、保育・保育所の在り方や、保育所再編に伴う課題について議論する。

検討会での内容は後日、保育所で保護者の皆様に周知するとともに、京北地域で全戸配布し、保護者や地域の方から随時御意見をいただく。

## <検討会メンバー>

各保育所長、幼保総合支援室各課長（公営保育所課長、保育内容向上課長、保育施設支援課長）、京北出張所長、  
保護者代表6名（各保育所2名）、地域代表（京北自治振興会会長）

保護者会に各保育所で代表の保護者2名の選出を御相談させていただきますので、お手数おかけしますが御協力をお願いいたします。

# 検討会の内容イメージ

## ◆ 第1回（8月下旬）

意見交換会やアンケートなど、これまでにいただいている意見をもとに考えられる保育所再編に伴う効果や課題など、各論点について議論

## ◆ 第2回（10月下旬～11月上旬）

第1回での議論を踏まえた京北域保育所の在り方方針素案の作成、議論

## ◆ 第3回（1月中旬）

前回までの議論を踏まえた京北域保育所の在り方方針案まとめ

 令和8年度を準備期間とし、令和9年度の保育所再編を目指す

# 第1回検討会について①

## <本市が考える望ましい保育環境の実現のための組織再編案>

※結論ではなく、検討を進めていくうえでの案です。

### ①再編の概要

集団生活の中で社会性や人間関係を育む、望ましい子どもたちの保育環境を維持していくため、令和9年度に京北域保育所を新たに京北保育所（仮）として1つの保育所に再編する。

### ②再編後の施設

#### 現在の弓削保育所を活用

施設の状況（最も新しく規模が大きい、駐車スペースが広い等）、児童数、位置（現在の3保育所では中間に位置し、送迎などの影響が最も少ない）などから想定

# 第1回検討会について②

## 【検討会の論点（関連するこれまでの御意見等）】

### 保育の観点

- 少人数の異年齢保育の良さが失われないか。少人数の手厚いきめ細やかな保育の質を下げないでほしい。
- 京北地域の特性を活かした多様な保育のあり方を尊重すべきではないか。
- 同年齢の子が少ないのは寂しい。集団での活動の重要性は理解できる。
- 保育環境の向上（1つに統合する場合は、施設を整備してほしい等）
- 保育所再編により、保育環境の変化や担任の先生が変更となることで子どもへの影響がでないか。

### 保護者負担の観点

- 送迎時間が長くなることで負担が大きくなる。就労等への影響が生じる。
- きょうだい児がいると、小学校や学童に近いところに保育所があったほうが便利ではないか。 35

# 第1回検討会について③

【検討会の論点（関連するこれまでの御意見等）】

## コミュニティの観点

- 保育所から小中学校まで選択の余地なく1つのコミュニティになることの不安
- 地域と保育所の関係が希薄になる。

## 地域活性化・移住促進の観点

- 少人数保育を望む移住者の動機を失わせる可能性がある。広大な京北地域の面積に対し、保育所が1つとなると子育て世帯が移住しにくくなる。
- 保育所として使用しなくなる施設の地域における活用方法